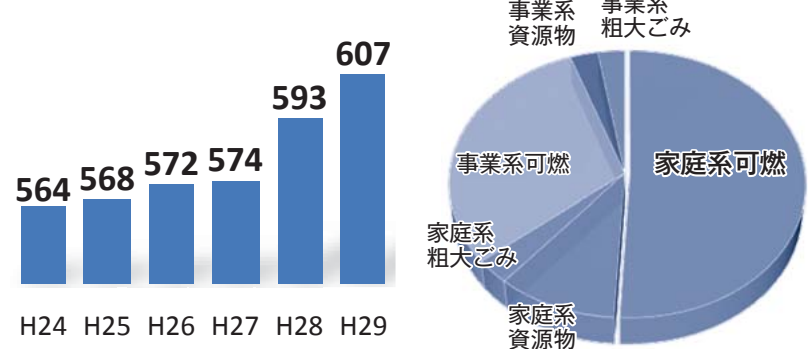


ごみの減量化にご協力をお願いします。

山都町のごみ処理の現状

本町の1人1日当たりのごみの排出量は、人口が減っているのに対し、年々増加しています。また、ごみ全体の約50%が家庭から出る可燃ごみです。美しい環境を次の世代に引き継いでいくためにも、町民が一体となってごみの減量化に取り組んでいく必要があります。

町民1人1日当たりごみ排出量 山都町のごみの内訳（H29年度）
【可燃ごみ・粗大ごみ】（単位：g）



ごみの減量化に向けた取組

○ 山都町環境審議会から答申書が提出されました

7月に、町から山都町環境審議会へ、ごみ処理手数料の有料化について諮問しました。有料化の妥当性や基本事項などについて審議していただき、9月21日に、堤会長（熊本県立大学副学長）より梅田町長へ「ごみ処理手数料の有料化について」は、妥当とする旨の答申書が提出されました。この答申を踏まえ、ごみの減量化に向けた取り組みを進めていきます。



○ 資源ごみの集団回収事業助成金制度を実施しています

対象団体が対象となる資源ごみを小峰クリーンセンターに持ち込んで計量すると、その量に応じて、町が業者に売り渡す契約単価に基づいた金額を助成します。



▲第1回持ち込み日の計量の様子

- 対象団体** 教育関係（PTAなど）、児童・生徒育成（子供会、部活動団体など）消費・生活改善（老人会など）、自治（自治振興区、区、組など）
- 対象品目** 古紙類、空き缶、ペットボトル、古着（分別表に基づいて適正に分別されたもの）
- 持ち込み日** 平成30年11月26日（月）、平成31年1月28日（月）
いずれも午後2時から午後4時まで

※事前の申請および持ち込み一週間前までの予約が必要です。
詳しくは下記担当までお問合せください。

ごみ処理手数料の有料化に向けた事業所説明会を開催します

期 日	時 間	会 場
11月1日（木）	14:00～	矢部保健福祉センター千寿苑
11月5日（月）	14:00～	馬見原公民館

有料化の目的は、ごみの減量化・資源化・処理費用負担の公平化です。
町民のみなさまのご協力をよろしくお願いします。

問合せ先 環境水道課 環境衛生係 ☎ 72-4002

た日本列島に、台風21号、24号、そして北海道胆振東部地震と、災害が相次いで発生しました。また、関西国際空港のタンカー衝突や高潮による冠水、北海道全域停電等、想定外のことが日常茶飯のように発生しています。科学、そして人間が万能ではなく、自然と共に生きていることを今一度考えたいものです。町民の皆様には、万一の場合に備えて、常日頃より避難の準備等の心構えをお願いしたいと思います。

先日、九州中央自動車道の北中島IC（仮称）と上野IC（仮称）間の工事現場を視察する機会がありました。本年度開通に向けて30数社の建設業者の方々が、暑い中頑張っておられました。工事事務所長からは、できるだけ早い開通を目指していると言葉をいただきました。町としても、開通を見据えた町づくりを進めると共に、地元期成会として、県と連携をしながら強力に国等に要望活動を行い、矢部IC（仮称）の早期開通と矢部、蘇陽間の計画段階評価の早期着手に向けた取り組みを進めて参ります。

敬老の日を迎え、各地で敬老会などが開催されました。参加された高齢者の方々の生き生きとした明るい笑顔、笑い声を聞くことができ、嬉しい気持ちで一杯になりました。

今年は老人会の方々に、「エゴマ」を植えていただいています。屋外に出て農作業を行い、健康に良いといわれるエゴマ油を作っていただけのことを見聞きしています。先日、栽培の状況を確認するため町内をまわり、多くの会員の方々とお話をすることで、久しぶりに共同作業で汗を流し、手探りの作業を通じて会員の絆が更に深まったと言われました。皆さん、エゴマを収穫し油にすることを大変楽しみにしていらっしゃるようです。その中で、高齢のご夫婦がインゲン豆を収穫しておられました。皆さんの売り上げがあるとのこととでした。きれいに手入れされた畑と作物を見て、そしてはお話を聞く中で、農作業を通じて健康で長生きを実践されていると深く感動したところです。

エゴマ栽培を通して明るく健康に過ごせる町づくりに進んで参加していただきたいと思います。

町長室から
梅田 穰

ゴミから資源に！県内初の循環教育が行われました。

蘇陽南小で7月・8月の2回に分けて、熊本県で初の循環教育プログラムが行われました。第1回では生ゴミをエネルギー等に変換・活用を行う循環の仕組みを学び、実際に発酵装置を手作りしました。第2回では第1回の発酵装置から発生したメタンガスを使用して火をおこし、お茶を沸かしたり、発電装置を熱して電気を作りライトを点灯させました。児童たちは「メタンガスでお湯をわかせたことにおどろいた。」「生ゴミがガスや肥料になるのがすごいと思った。」「燃やしやすい生ゴミを燃やすのに大量の燃料を使うより液体肥料にした方がリサイクルにもなるし環境にもいいと思った。」など、授業を通してしっかり循環の仕組みが理解できていました。



火を見守ってガスがきちんと出ているか確認します。



パイプのつなぎ目にしっかり塗って漏れを防ぎます。



脱硫剤は阿蘇の土からできているなんて、びっくりだね！



ライトがだんだん明るく灯ってきたね！



発酵が均等に行われるように時々中を混ぜます。